GII 2026から紐解く日本企業の知財戦略：「出願の量」から「事業化・価値変換」へ



1位 PCT特許出願数/GDP

3位 企業R&D

世界トップクラスの研究開発力と
特許出願基盤を保持。

現状の課題：世界屈指の知財基盤と「価値変換ギャップ」



価値変換ギャップ



- 労働生産性上昇 **86位**
- FDI純流入 **112位**

協力な技術・特許を収益や生産性
向上へ変換できていない。



出願量中心から「事業寄与度・FTO・事業保護」への評価転換

全ポートフォリオを評価・再編し
未活用IPの権利活用を推進。



オープンイノベーション初期からの知財・データ権利設計

大学やスタートアップとの提携・
PoC段階から知財戦略を統合。

事業成長を牽引する無形資産戦略

Gemini Notebook